



和泉観ボラだより



第8号

2014.3月発行

〒594-0041 和泉市いぶき野五丁目1-1 (和泉中央駅構内) 和泉市いづみの国観光おもてなし処気付「和泉観光ボランティア」

TEL/FAX: 0725(56)5200 E-mail bwz11423@nifty.com

<http://blog.goo.ne.jp/kankou-izumi/>

和泉市ゆかりの国学者・契沖の足跡をたどって…

和泉市久井町～万町を訪ねて

国学者・契沖（けいちゅう）という人物を知っていますか？契沖（1640・寛永16年～1701・元禄14年）は、幼くして摂津国東成郡大今里村（現在の大阪市東成区大今里）の妙法寺の丰定（かいてい）の弟子になり修行後、高野山で阿闍梨になり、のちに摂津国西成郡西高津村（現在の大阪市天王寺区生玉町）の曼陀羅院の住持となります。やがて高野山へ戻り、その後、和泉国和泉郡久井村（現在の和泉市久井町）の辻森吉行氏や同郡万町村（現在の和泉市万町）の伏屋重賢氏のもとで、仏典・漢籍や日本の古典を数多く読み、1678年（延宝6年）妙法寺住持分となった後、晩年は摂津国東成郡東高津村（現在の大阪市天王寺区空清町）の円珠庵で過ごしたとされています。その間に徳川光圀の依頼で「万葉集」を注釈した「万葉代匠記」を著しています。和泉市に縁があったことは、和泉市に石碑があることから伺えます。そんな契沖の足跡を辿ってみました。



上段左 Japanese Book

『国文学名家肖像集』

上段右 阿闍梨契沖之遺跡の碑

中段左 久井乃井の碑

中段中 僧契沖遺愛の井戸の碑

中段右 契沖ゆかりの寺 地藏寺

(久井町)



下段左

石尾中学校校門横

国学発祥之地の碑

下段右

契沖養壽庵跡之碑と歌碑

(万町)

みなさんが写した和泉市の1枚



若樫の百滝桜

(若樫バス停より徒歩)

「葉菜の森」から、さほど遠くない若樫にある早咲きの枝垂れ桜。「百滝桜」として有名だそうです。個人宅の桜なので、駐車場はありません。また細い道沿いにあるので、駐停車もできません。毎年、満開近くなるとライトアップもされているようです。



とても大きな桜の木なので、全体を写すのは困難でした。

2013年は開花が少し早かったですが、毎年3月下旬に満開～散り初めです。

2013.3.19 撮影

「和泉観ボラだより」を読んでくださっているみなさまからの写真投稿（E-mailにて）をお待ちしています。掲載されましても景品等はありませんが、素敵な風景、心の残る情景などをおすそわけいただければうれしく思います。撮影場所・アクセスなど説明を添えて投稿ください。またお名前掲載にあたりまして、本名・ニックネーム・イニシャルなどご希望に応じます。投稿の際にその旨お知らせください。投稿にあたりましては、個人情報の記入は不要です。また個人撮影のオリジナル作品に限ります。お送りいただきました写真は編集委員会にて1枚選出させていただきます。観ボラだよりにて毎号1枚掲載させていただきます。選にもれました方にはご協力にお礼申し上げます。（投稿先）E-mail bwz11423@nifty.com

春日神社と藤原姓



いつの頃からか、散歩がてらに最も近くにある三木の春日神社になった。行きだしてから年に数回は行くようになった。氏子の皆さんの尽力もあってか神社参道も整備され参拝者が年々増えたと感じている。境内では、神を守る珍獣から、神の使者と言われる動物に出会う。狛犬、鹿、馬まで、末社の狐さんも…神社はお祀り対象の神様の形が無いだけに、春日大神は神四柱中心なのか、どんな神なのだろうかと、仏像とすぐ比較する悪い癖もある。でも神殿の前では賽銭を入れ神妙な顔付きで二拝(礼)二拍一拝(礼)。ここには合祀された神社あわせて何柱の神様が鎮座されているのだろうと…。それ以外にも村境におかれていた神々も鎮座集合。車で来たついでに、和泉にある春日神社をすべて廻ることにした。春木町、内田町など、和泉市の市販地図やウォーキングマップを見ながら…。皆さんも巡ってみればと思う。



また藤原(氏・姓)が多い地域だが、歴史と伝承は全く同じとはいかないようだ。同じように姓と氏、苗字(名字)は違う。藤原氏は、中臣の鎌足に始まると言われている。藤原不比等の子である光明皇后の伝承話もある。確かに和泉市には「藤原」という苗字は多い。万町や浦田町を歩いた時には、本当に驚いた。下の名前がわからないと家を探し当てることは出来ない。和泉市で一番多い姓だとされている。

『藤原さん』は氏族の関係、家、さんに繋がる。姓は豪族を地位で表すもの。藤原(氏)朝臣(姓)、中臣の鎌足をもっと遡れば、祖先の春日神に行き着く。奈良の春日大社に藤原氏の氏神を祀ったという。関東に祖を持つ人とも言われている。現在の「藤原姓」は藤原氏の貴族の末裔か、藤原氏の領地の農業労働者の末裔か、知る由もない。和泉市には縁名の藤原さんが多い。

石尾山弘法寺を訪ねて…

泉北高速鉄道・和泉中央駅から約 1km のところにある「石尾山弘法寺」でお話を伺う機会がありました。研修・勉強の目的は、説話や寺の縁起だけではなく、お寺で行なわれている「粋な主催行事」（詳細は公式 HP に掲載されていますので「石尾山弘法寺」で検索してみてください）を聞いたかったということにありました。副住職が主催しているお寺の取り組みに、前々から興味あり、一度ゆっくり聞いてみたかったので、それが実現となり、訪問当日は喜びでわくわくしました。お寺を仏法修行や信心の場のみに限定せず、昔からお寺が担っていたコミュニティーを現代風に生かす副住職の思いは、お経を聞くより五臓六腑に響きました。お寺を現代風に生かす取り組みの経過を、苦勞することなく、さりげなく皆さんの繋がり活発にしたという副住職の言葉は、組織運動をかじってきた年寄りには「痛い」言葉でした。和泉市内の公立小中校を足し算しても、寺院の数（90弱）には到底及びません。市内にある神社仏閣で、またいろいろお話が伺えたらと思います。弘法寺は真言宗のお寺「阿字観」もやっています。心を落ち着けることのできる瞑想の世界を体験してみることもできます。昔から「石尾のお大師さん」として親しまれています。



所在地	和泉市万町 1022
山号	石尾山
宗旨	真言宗
宗派	高野山真言宗
本尊	大日如来
創建年	大同年間（806～810年）
開基	弘法大師（空海）
札所等	和泉霊場第五十番 河泉地藏霊場十八番 ぼけよけ地藏霊場

観光ボランティアメンバーお薦めのウォーキングコース

和泉には歴史もミステリーもいっぱい眠っています。一度ゆっくり歩いてみませんか？

飛鳥時代から昭和までの歴史ウォーキングコース

泉北高速鉄道・和泉中央駅徒歩

和泉中央駅～僧契沖の碑（万町）～浦田町～※昭和の面影が残る町並み
～川中～三木の春日神社（奈良の春日大社の分社・境内に三林古墳群）
～黒石古墳（飛鳥の石舞台古墳と同じ作り）
～光明池までの用水路・浄福寺の取水口
～光明皇后伝説の浄福寺～光明皇后誕生所の石碑
～国分寺～羅漢寺～リサイクル環境公園～谷山池
～梨本池～松尾寺～和泉中央駅

※浦田町から川中までの道のりに、昭和の面影が残る町並みがあり、戦争前は繁華街だったそうで、映画館や銀行大きな造り酒屋もあったと言われています。

次号では「和泉北部地域のミステリー探しウォーキングコース」を、ご紹介します



観光ガイド受付けています！

輝く昭和に第一線を生きてきた、職業体験もバラバラ、また経験してきたボランティア活動もバラバラ、そのような人々が集まり、日々研鑽に努めてきたガイドクラブが「和泉観光ボランティアクラブ」です。

「むかしむかし、あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました…」で始まる話がありますが、ガイドのメンバーは、右も左もおじいちゃん、おばあちゃんたちですが、元気な平成の現役集団です。

和泉市の民話・伝承の神社仏閣、花の里、弥生時代の暮らし、小栗街道（熊野街道）の歴史・文化・特産物、そんな和泉の素晴らしい財産、あらゆるものを楽しみながら紹介するガイドです。

泉北高速鉄道・和泉中央駅構内に「和泉市いずみの国観光おもてなし処」があります。

「いずみ観光ナビ」http://www.tourism-industry.izumi.osaka.jp/contents/kankou/kankou_guide.html より、ガイド申込書をダウンロードして、観光日時、希望のコース、代表者の連絡先をご記入のうえ、下記連絡先に FAX していただくと、ガイドクラブに取り次いでくれます。連絡が届きました時点で、観光ボランティアクラブからコースについての相談をさせていただきます。電話でも受付けています。



連絡先・和泉市いずみの国観光おもてなし処

開所時間・10:00～18:00 定休日・月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始

電話・FAX 0725 - 56 - 5200



前号の訂正

P.1 上段 1931 年（昭和 7 年）は、（昭和 6 年）の誤りです。

P.1 下段「山中溪」の記事のなかの「銀河峰」は正しくは「銀の峰」です。

和泉観光ボランティア日誌

和泉市内、大阪府内、近畿圏内で、いろいろ勉強しています

2013年

- 7月 岸和田観光ボランティアクラブとの交流会
岸和田城～岸城神社～五風荘～だんじり会館
観光ボランティアの活動を語り合いました。
- 8月 和泉の秋の風物詩・だんじりについての勉強会
- 9月 和泉の郷の地層について
- 10月 和泉・弥生ロマン・ツーデーウォーク協力
- 11月 ならなぎ（奈良・自然の感動を伝える会）との交流
奈良の隠れた観光スポットを案内してもらいました
- 12月 石尾山弘法寺での仏閣研修・勉強会



日本国内には、
きっとたくさんの
観光ボラン
ティアクラ
ブがある
んだろうな



2014年

- 1月 無量山西福寺（桑原の雷伝説のお寺）仏閣研修・勉強会
- 2月 和泉シティプラザ設計・建設時の話を聞く研修会
- 3月 「おもてなし・ホスピタリティ」の研修

他市、他府県から和泉に来られた方を

「おもてなし」で、ご案内しました



11月～12月

歩いて、和泉市内をガイドしました。

小栗街道、古い街並み、寺社など歩いて廻りました。

観光バスに乗って、和泉市内のガイドをしました。

松尾寺 ～ 道の駅いずみ山愛の里・南部リージョンセンター

～ 国華園～ ミカン狩り いずみふれあいの農の里

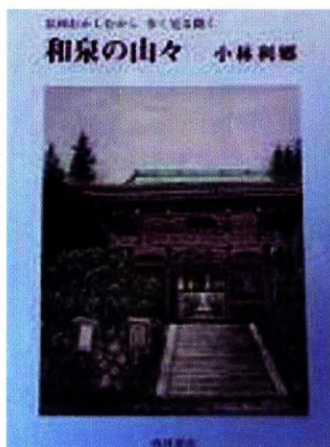
～ 久保惣記念美術館～ 無量山西福寺

たくさんの方が、
和泉に遊びに来て
ほしいなあ～～。
何回も来てもらいた
いなあ～～。



その他、温泉やいずみスイーツ処など、ご案内できる
ところは、まだまだいっぱいあります。「おもて
なし」の気持ちで、和泉に来られたお客様をお迎えし
ています。JR 阪和線・北信太駅、信太山駅、和泉府中
駅や、泉北高速鉄道・光明池駅、和泉中央駅それぞれの
駅からの歩くコースもご案内しました。

和泉を知るためのお薦めの1冊② 「和泉の山々」 小林利郷・著



泉州のむかしむかし
歩く見る聞く「和泉
の山々」は、泉州の
山々・榎尾山、葛城
山、犬鳴山など、馴
染みの山々や山里の
風景と語り継がれて
いる伝説が綴られて
います。

発行・中井書店

編集後記

和泉観光ボランティアクラブはベテランの1期生から、ひよっこの4期生までのメンバーで構成されている。そのなかでも、一番孵化まもないひよっこが、編集を担当することになり、四苦八苦しながらも8号発行にこぎつけた。ボランティア仲間から、たくさんの情報、協力、尽力を得て、「和泉市」の歴史・文化・伝統・産業・名所など、ひとつひとつ教わりながら、覚えながら、今日に至っている。市民の皆さまからの投稿・ご意見も戴きながら、これからも「和泉市」を学んでいけたらいいなあと思っている。娘の小・中学校時代のクラスメートが音楽ユニット「ケラケラ」（いずみの国和泉市観光大使）として活躍しているのも、うれしいニュース。今年もたくさんの情報を発信～～♪

(Maki)